

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		コベルプラス西園分寺教室		公表日		2026年2月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・設備・整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	14	使用していない	小学生と一緒に遊べるカードゲームやボードゲームも貸し出しがあると良い	→教室教材の貸出ができる事が支援員に周知できていなかったため、必要時には貸出ができる事を周知した	
	2	利用希望者に対して、職員の数配置は適切であるか。	18	わからない	利用者=担当支援員一人が基本になります。支援日数が多いなどの都合によっては2名体制になる場合もある 2名体制の場合、共有の場として会議実施を行います		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	17	1 その他	自己評価しているが客観的にPDCAのサイクルになっているのかフィードバックがないので不明です	→半年毎に個別支援計画の見直しを担当支援員と実施し、ご利用者さまへのより良い支援を目指しています	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	機会があることを知らなかった		→自己評価公表についての支援員の周知が不十分であるため、再度周知を徹底していく	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	16			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	18	1	事例検討などの訪問支援に直接的に行かせる研修や先輩支援員からの経験談が聞ける機会も必要	新年度に職員間での交流できる場を検討している	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	19				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19				
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	16	2 その他	支援先と共通理解と連携の難しさがある 見直し時期に関係者会議の実施が必要であると感じる		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	1			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	2 わからない 不明			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	19				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	2	保護者の意向により、支援先への共有が行われていない場合もある		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	1 その他	支援先、保護者、支援員(関係機関を含む)でひとつのチームとして支援にあたる事が望ましいが、その関係性を構築するまでに時間を要する連携の難しさがある	チームとして役割分担を行いながら、支援にあたっていく	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	2	支援先の管理職と長時間でも共有している 時間確保ができる時は実施している	支援先により時間確保が難しい場合がある 打ち合わせを都度行うことは状況に難しい	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	19				
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	19				
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	18	不明			
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	1			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	担当支援者の名字はなかった			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16	2 機会があれば参加する	児童発達と常に連携を取り合っている。その際、それぞれの経験や状況を共有し合いながら訪問支援を行っているため、都度が研修や学び、気づきの場となっていると認識している	定期的な研修があることは良いと思うが、訪問支援員それぞれの担当が千差万別であること、訪問支援以外の時間を確保する事が難しいと感じる	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	5 未だ機会がない	事業所として機会があれば参加していく		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19				
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	3 不明	自治体からの情報や保護者向けの講座案内などは事務局からメールにてお知らせしている		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	19				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	1			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	19				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	19				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	2 わからない 該当しない	児童発達利用者教室内のイベントにて他の保護者やきょうだい児同士の関わる機会を設けている	保護者の依頼があれば事務局で検討していく	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	未回答			
	34	定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	2 わからない	訪問支援事業での活動概要などを公開することは難しい(HUGシステムにて個別に報告書を個別公開している) 自治体からの情報や保護者向けの講座案内などは事務局からメールにてお知らせしている	今後支援卒業生などの近況などをお知らせできる場を考えていきたい	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	19				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	16	3	支援先の働き方改革などの動きの影響もあり、時間確保が難しいことがある	支援先の負担にならないように、できる範囲で情報共有を図っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	19				
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19				
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	18	行えているか 苦慮している			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	1			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	1			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	1			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	19				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	19				